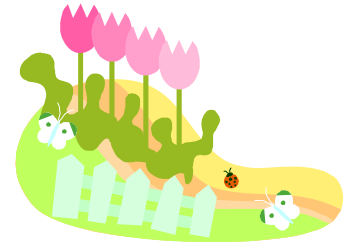


# マルトミです

日頃のご愛顧に心より御礼申し上げます。



## お知らせ

- ☆ 歴史的な豪雪に見舞われたこの上越でも、ようやく平野部では地面が見えるまで雪が減ってきました。でも本格的な春の訪れはやはり遅れそうで、農作業をされる皆様はご心配のことかと存じます。天候不順が当たり前のようになってしまった昨今ですが、暖かな日差しと柔らかな緑の景色が待ち遠しいところです。
- ☆ ただいまショールームでは、耕うん機・草刈機・チェーンソーを中心に展示セール中です。お得な特典も用意してお待ちしていますのでぜひお出かけください。
- ☆ ご愛用の耕うん機を快適にお使いいただけるように、シーズン前の点検はいかがでしょうか。あわせて除雪機の使用後点検も承っておりますので、どうかご利用願います。

マルトミカレンダー (4月～6月) 赤色は休業日

4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5						1	2
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
29	30						27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30



## 株式会社 マルトミ

本社: 上越市西田中236-9(企業団地内)

TEL(025)524-1181 FAX(025)524-1184

E-mail: [info@maru-takada.com](mailto:info@maru-takada.com)

ホームページ [www.maru-takada.com](http://www.maru-takada.com)

## ミニ耕うん機を使われる前に ～簡単にできる点検のポイント～

いよいよ畑起こしのシーズンがやってきました。大きな故障やトラブルを事前に防止し、快適な作業が行えるように、耕うん機のご使用前の点検をぜひおすすめします。点検の際のとくに大事なポイントを3つあげておきますのでご参考にしてください。なお詳しくは取扱説明書をご覧ください。



### ① オイルはきちんと入っていますか。

とくにエンジンオイルの量が少なすぎたり、ひどく汚れていたりすると、大きな故障の原因となります。エンジンをかける前にまずエンジンオイルの確認をして、必要な場合はオイル交換をしてください。

### ② 車軸やロータリー軸部分から油が漏れていませんか。

車軸やロータリー軸付近が油で汚れていたり、下の床に油がたまっていたら、ミッションオイルが漏れていることが考えられます。そのまま使用すると大きな故障の原因となるので、オイルの交換が必要です。その場合はご相談ください。また、車軸やロータリー軸のつけ根にビニールや草などが巻きついたまま作業をするとオイルシールの破損につながりますので、事前に確認してもし巻きついていたら取り除いてください。

### ③ キャブレターに燃料が詰まっていますか。

エンジンスイッチを入れてスタートロープを引いてもエンジンがかからなかったり、かかってもすぐ止まったりエンジン音が波打ったりする場合、キャブレターが詰まっていることも考えられます。こうした現象は、シーズン後の格納時にキャブレター内のガソリンを抜いておくことと、古い燃料を使わないようにすることで防ぐことができますが、詰まってしまったキャブレターは修理が必要です。

## 除雪機の格納前のお手入れについて

これからシーズンを迎える機械とは反対に、もう冬まで使うことのない除雪機は、長期格納の前に燃料を完全に抜いて、摺動部分やさびやすい部分には注油しておく、翌年もトラブルなく快適にご使用いただくことができます。手入れの方法などでわからないことがありましたらお気軽におたずね下さい。



### 点検・修理もおまかせ下さい。

修理できずにお困りの機械はありませんか？ メーカー・機種を問わず、どんなことでもお気軽にご相談ください。

## 3月の当社イベントにご来場いただき有難うございました。

この春は特別に雪が多かったため、恒例のマルトミ春のスペシャルデーを例年よりも2週間遅らせて24日・25日に開催しました。それでもときおり雪がちらつく寒さでしたが、悪天候の中、今回も大勢の皆様がご来場くださいました。本当に有難うございました。

会場では、これから使われる春の商品のほかに、昨年同様、除雪機のご予約も数多くいただきました。今シーズンも、おそらく秋頃には品切れ機種が多く出てしまうと思われるので、ご検討中の方はぜひお早めにご相談ください。



## 牧区で生き物調査報告会が行われました。

3月27日、牧区の深山荘で、坪山の郷を守る会主催の牧区坪山地区生き物調査報告会が行われました。この調査はNPO法人エコロジー・ネットワークが受注し、当社からも富取満と朔の2人が参加して3年かけて行ってきたもので、今回がそのまとめの報告会となりました。会には坪山地区の皆さんの他に、総合事務所からも渡辺所長ら2名が出席されました。



今回の調査を通じ、かつてはどこにも存在しながら今ではとても貴重なものになってしまった里山の自然が、坪山地区にはまだちゃんと残っていることが確認できました。この素晴らしい環境の中で丹精込めて作られる坪山のお米や、中川さんのどぶろくが特別においしいのは当然のことかもしれません。(坪山のお米とどぶろく卓のお問合せはTEL025-533-5643 中川さんまで)

## お客様訪問

### 上越市 和田祐二さん

和田さんは、新聞等でご存知の方もおられると思いますが、カブトやクワガタなどの昆虫飼育の達人です。

学習教材を扱う謙信堂に永く勤め、学校の理科の先生たちと交流する中で生き物全般に興味を持っていましたが、昆虫飼育に熱中するようになったのは、30年ほど前に友人から畑の堆肥の中にいたカブトムシの幼虫をもらって飼ったのがきっかけだそうです。

いまでは、国産・外国産ともたくさんの種類を飼育されていて、私がお邪魔した時も、成虫になったばかりの巨大なアケテオンゾウカブトときれいなニジイロクワガタを見せていただきました。



飼育教室などのイベントを通して子供たちにも人気の和田さんですが、飼育の楽しさを伝えるだけでなく、日本の自然の生態系を壊さないため、飼っている生き物は決して外に逃がさないことを教えているそうです。

7月の当社のイベントには、昆虫の販売と飼育教室でご協力いただくことになっていますので、虫好きな方はどうかお楽しみに。

## 小さなパイオニア サワガニ

小さい頃に、山でサワガニをつかまえて遊んだ思い出はありませんか。最近こうした小さい生き物のことが忘れられがちですが、いまでも私たちの近くで元気に暮らしています。

サワガニのえらいところは、カニなのに山にいます。自然に恵まれた土地で育ち、子供のころからサワガニを見なれている方には普通に思われるかもしれませんが、これはじつはすごいことなのです。

実際、サワガニ以外のカニはすべて海にすんでいます。産卵も海中で行われ、卵から孵った子供はしばらくプランクトンとして過ごした後で小さなカニの形となり、その後脱皮を繰り返しながら大きく成長してゆきます。例外的にモクズガニは川でも見ることができますが、このカニは海と川を行き来してくらし、産卵も海で行うので、どちらかに分けるとすれば海のカニと言うべきものでしょう。生まれて最初にプランクトン生活をするカニたちにとって、海の栄養豊かで安定した環境がどうしても必要なのです。

一方、山の谷川のようなところでは、水がきれいすぎて栄養分が少ないうえ、水は常に流れていますから、もしカニが普通の方法で産卵したとしても、子は育つ前に流されて行ってしまいうでしょう。そこでサワガニがとった方法は、他のカニたちのように小さな卵をたくさん産む代わりに、大きな卵を少し産んでお腹に抱えておいて、卵の中で小さなカニの姿になってから放出するというものでした。これなら、生まれた子供はすぐに歩いたり泳いだりして移動して、好きな場所でそのまま生活することができます。サワガニはこのパイオニア精神によって、他のカニ達と競合しなくていい安住の地を手に入れたのです。

宮沢賢治の童話「やまなし」には、サワガニの父子が主役で登場します。夜の谷川に降りそそぐ月光の青から始まって、おしまいまで鮮やかな色彩に満ちあふれた物語で、私の大好きな作品です。雨ニモマケズの詩とか、研究者による夥しい数の伝記や論文などから、教育者・宗教家としてイメージされることも多い宮沢賢治ですが、それよりもなによりも、発表から100年の歳月を経てなお、まるで別次元の輝きを放っている多くの童話や詩を生み出した天才であることは、賢治ファンの方ならばもちろんご存じのことでしょう。



「やまなし」は賢治童話の中でも名作とされるものの一つです。もし初めて聞いたという方がおられたら、ぜひ一度読んでいただきたいと思います。

そのあとで、本物のサワガニに会いたくなったら、ぽかぽか暖かい陽気になるのを待って近くの山にでかけ、道端に沢があれば降りて、水際の石ころをそっと持ち上げ覗いてみて下さい。(ミ)

※今回、石井桃子さんにイラストを描いていただきました。石井さんはこの3月まで大潟水と森公園でパークレンジャーをされていました。鳥が専門ですが、自然界全般に造詣が深く、イラストも得意とされています。これから毎回お願いしていますので、どうか御期待ください。